

第2回高松市子ども・子育て支援会議

【事前に提出いただいた御提案等】

No.	御提案等
1	資料1「『高松市子ども・子育て支援推進計画』に基づく取組事業推進状況一覧表」の評価点について 事業に対する評価は、費用対効果によって評価されるべきである。予算金額の多少にかかわらず事業の個別評価点の平均を評価点としていることは違和感がある。予算金額がゼロの事業も多数あるが、数億円規模の事業と同じ基準で平均の評価点を出すことに意味があると思えない。
2	資料1の推進状況一覧にある事業のうち、実績欄においては、人数、回数、件数など具体的な数字が示されており取組の程度等がよくわかるが、一部の事業で文章のみであったこと、随時という表現で具体が分かりにくかったことが気になった。

【事前に提出いただいた御質問・御意見等及びその回答】

No.	御質問・御意見等	回 答
1	資料1の1ページ136「発達障がい児支援事業」について、幼稚園を訪問する機会があり、見ていると、障がいがある又はグレーゾーンなど手間のかかる園児が年々増えているように思う。支援保育士の数は足りているのか。	市立幼稚園では、年度当初において、支援を必要とする子どもの数に応じて、非常勤講師を加配で配置（3～4名につき講師1名）しているところです。30年度以降においても、引き続き、必要な講師数を配置していきたいと考えています。
2	資料1の1ページ6「3歳児健診事業」について、子どものために受診が望ましいと思われる健診の一つであるが、目標は達成できているものの、受診率が80%台なのが気にかかる。受診できなかった理由は何か（例えば平日のため仕事で行けないなどの理由の場合、休日も受けられるようにするなどの対応が有効かもしれない）。	3歳児健診の未受診者の理由で多いのは、「母親が妊娠中」や「子どもの体調不良」「病院等にて受診済み」「転入前の自治体で受診した」等です。 健診未受診につきましては、ハガキや電話、訪問等で受診勧奨をしており、4歳まで受診可能ですので、保護者に日程調整していただき、受診につなげています。